


平成31年度 都立学校・学校経営シート

校章	 都立墨東特別支援学校		肢体不自由・病弱	通学区域 肢体不自由・江東区、墨田区、台東区、千代田区、中央区 病弱教育部門・江東区、墨田区、台東区、千代田区、中央区、葛飾区、江戸川区
	子どもたちの夢や願いをかなえる学校			
基	所在地	〒135-0003 江東区猿江二丁目16番18号	電話番号 03-3634-8431	基 本 情 報
	アクセス	(1) 東京メトロ半蔵門線住吉駅下車徒歩5分 (2) 都営新宿線住吉駅下車徒歩5分 (3)		
本	設置学部	小学部、中学部、高等部		
	児童・児童生徒数	176名 ○肢体不自由教育部門158名(小学部87名 中学部32名 高等部39名) ○病弱教育部門 18名(小学部10名 中学部 6名 高等部2名)		
情	学級数	50学級 ○肢体不自由教育部門 41学級(小学部23学級 中学部9学級 高等部10学級) ○病弱教育部門 9学級(小学部 4学級 中学部 3学級 高等部 2学級)		
	スクールバス	14台(大型9台、中型5台) 医ケア専用通学車両2台(小型1台、ワイドワゴン1台)		
報	その他			
	副籍実施状況	【平成30年度】小:65% 中:32%		
	学校評価	【平成30年度】回収率(保護者82%、教員100%、学校介護職員100%)		
	ホームページ	http://www.bokuto-sh.metro.tokyo.jp/site/zen/index.html		

目指す学校	①人権教育の推進 ②児童生徒の障害特性に応じた指導の充実(教職員の専門性の向上) ③児童生徒の実態及び課題に応じたキャリア教育の推進	④児童生徒の安全・安心な教育環境整備 ⑤組織的・機能的な学校経営の推進 ⑥肢体不自由教育部門の充実	⑦病弱教育部門の充実
-------	--	---	------------

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価	
目標①	専門性の高い肢体不自由教育、病弱教育の実践 ・教員と学校介護職及び病弱支援員と連携を図り、授業改善を行う。 ・外部専門家等を活用したチームアプローチ指導の更なる充実を図る。 ・医療的ケアの安全な実施及び充実に向けた取組を行う。 ・タブレット端末等ICT機器を活用し、模擬体験学習等の工夫を図る。	全校の研究のテーマである「一人一人が豊かに生きる力を育む実践を目指して ～オリンピック・パラリンピック教育を通じた授業づくり～」については、3か年計画の最終年度として総括的に「豊かに生きる力」についてまとめ、公開研究会を実施した。児童・生徒の障害の特性や発達段階等に応じた「他者を思いやる心・ボランティアマインド」の観点から、自己肯定感の醸成や外界や他者への働き掛けを育成するための授業力向上に向けて総括を行ったことは成果となった。また、外部専門員とのより有効な連携システムの構築を図ることに努め、ICTについても専門員活用の幅を広げることができた。病弱教育部門では、ICT機器の活用による映像教材や模擬体験学習等の実施拡大とともに、OriHimeを活用して、入院中の生徒と原籍校とのつながりを大切にする機会を設け、教育内容の充実を図った。前年度より始まった医療的ケア専用通学車両の運行については、更に2コース増となり計4コースとなった。訪問看護師とともに校内勤務の非常勤看護師の乗車により、保護者の付添いを外すケースを増やすことができています。	
目標②	人権教育の推進及び体罰・いじめのない学校づくり ・教職員研修の徹底、体罰のチェック機能の強化等を実践する。 ・学校をより一層公開し、学校の広報と指導内容・方法の開示に努める。 ・体罰根絶・いじめの未然防止、早期発見、早期対応に取り組む。	「人権教育プログラム」や「体罰根絶に向けた総合的な対策」等と共に校内向けに新たに作成した指導資料も活用し、人権研修を実施した。教職員の不適切な対応については、自己点検チェックリストにより更に自覚を促し、理解を深めることを行った。また、必要に応じて個別の指導も行った。いじめや体罰については、全校での校内研修を実施し、アンケート及び個人面談にて確認を行っており、指導状況において気になる対応等が見られた場合は、見過ごすことなく周囲に相談や協力要請を図りやすい環境づくりを進めている。	
目標③	ライフ・ワーク・バランスの実現を目指す ・教職員の業務改善を図り、会議等の精選・効率化の徹底を図る。 ・教職員の在校時間の縮減を行う。	教職員の在校時間の超過については、引き続きの課題であったため、週ごとの指導計画の書式を変更し、本人によるセルフマネジメントを図ることとした。週1回の定時退勤日を設定することにより、教職員の意識改善は徐々に図られてきたが、業務の偏りを減らし、内容の精選を推進していくことが総合的な課題となっている。今年度は各部署における業務内容を精査することによって、分掌、委員会等の組織編成の変更を図ったので、次年度からは新組織による運営を実施する。今後は業務運営上の配慮事項について情報の共有化を図る必要がある。	

数値目標	今年度の数値目標の内容	28年度		29年度		30年度		今年度		2年度	3年度	4年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	研究授業による授業改善の実施回数(各学習グループの授業研究会の充実を図り、授業改善に繋げる)	120	79	120	23	23	23	30	25	30	30	30
目標②	特別支援学校教員免許状保有率	100	80	100	81	100	87	100	87	100	100	100
目標③	部活動の充実(運動部)年間回数	20	15	20	20	20	20	25	22	25	25	25

【理念】 子供のたちの夢や願いをかなえる学校

本校の教育目標

- やさしい心と元気な体をつくる
- 意欲をもって進んで学ぶ
- 自分で考え、責任をもって行動する
- みんなで仲良く協力する

【経営方針】

- 教職員が互いに切磋琢磨して専門性を高め、連携、協力して組織的な教育活動を推進する。
- 学校の教育力を向上させ、保護者や地域の方々に厚く信頼される教育活動を展開する。
- 人権を尊重し、児童生徒一人一人が生き生きと学び、豊かな心を育てる。
- 教職員のチームワークにより、児童生徒及び保護者にとって安心安全な学校を構築する。

肢体不自由教育部門

<学区域>千代田、中央、台東、墨田、江東



通学籍
(普通学級)
(重度重複学級)
児童生徒数 135名
小 81名
中 27名
高 27名

在宅訪問(訪問学級)
児童生徒数 10名



かもめ分教室
<都立東部療育センター>
児童生徒数 13名

病弱教育部門

<学区域>千代田、中央、台東、墨田、江東
+ 葛飾 江戸川



病院訪問(訪問学級)
児童生徒数 7名

いるか分教室
国立がん研究センター中央病院
児童生徒数 11名

